

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 デンソー 晴海荘 新築工事	階数	地上3F
建設地	愛知県蒲郡市西浦町塩柄7-2 他	構造	S造
用途地域	指定なし、法22条区域	平均居住人員	100 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2016年7月1日
敷地面積	6,604 m ²	作成者	株式会社熊谷組 羽迫英男
建築面積	1,206 m ²	確認日	2016年7月1日
延床面積	2,592 m ²	確認者	株式会社熊谷組 羽迫英男



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

音環境	2.1
温熱環境	2.9
光・視環境	3.8
空気質環境	4.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

機能性	3.7
耐用性	3.2
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6

水資源	3.8
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	2.9
周辺環境	3.2

3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.9</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>18.5 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>3.5 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	18.5 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	3.5 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	18.5 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	3.5 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.4</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>〈外装材に使用した地域性のある材料〉</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉</td> <td>なし</td> </tr> </table>	〈外装材に使用した地域性のある材料〉	なし	〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉	なし
〈外装材に使用した地域性のある材料〉	なし				
〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉	なし				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3-1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性
LR-2-2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3-1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
Q-3-2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
3.2 グレア対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
4.2 換気								
4.3 運用管理								
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1.2 心理性・快適性								
1.3 維持管理								
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
2.2 部品・部材の耐用年数								
2.4 信頼性								
3 対応性・更新性								
3.1 空間のゆとり								
3.2 荷重のゆとり								
3.3 設備の更新性								

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q3 室外環境(敷地内)								
1 生物環境の保全と創出	独自③			2.0	0.30	-	-	2.7
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			3.0	0.50	-	-	3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性								
LR1 エネルギー								
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.91		3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化								
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明や効率化設備を採用		4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用								
集合住宅以外の評価				2.0	0.20	-	-	2.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル								
1 水資源保護								
1.1 節水		節水型水栓や節水型便器を積極的に採用		4.0	0.40	-	-	3.8
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								
1 雨水利用システム導入の有無		雑排水に利用		4.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	② 独自	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	床タイル、ビニル系床材、デッキ材		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	内装が乾式工法で設備との雑線回避、OA707を採用		5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	3.3
3.2 フロン・ハロンの回避								
1 消火剤				3.5	0.68	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		発泡断熱材はノンフロン製品を採用		4.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境								
1 地球温暖化への配慮								
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2概算値:77%		3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止								
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善								
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制								
1 雨水排水負荷低減	独自			2.7	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	独自			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	独自			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								
1 騒音	独自			3.0	0.40	-	-	
2 振動	独自			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制								
1 風害の抑制				3.0	0.40	-	-	
2 砂塵の抑制				3.0	0.70	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制								
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの過半を満たす		4.4	0.20	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				5.0	0.70	-	-	
				3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

株式会社 デンソー 晴海荘 新築工事

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	
② 資源の有効活用				3.4
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:18.5%/建物緑化:3.5%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 株式会社 デンソー 晴海

計画上の配慮事項	
総合	建物南側広場にはトライミスト設備を設置し、小規模だが地球温暖化対策、ヒートアイランド対策、並びに利用者の使用環境の向上に努めている。また、雨水再利用設備により、外部植栽の散水には雨水を再利用している。
Q1 室内環境	ほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を使用することや適切な換気計画とすることで、室内空気環境に配慮している。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い材料や防汚性材等を採用し、建物の維持管理に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	空調屋外機を屋根上に設置し、さらに目隠し壁を計画することで景観に配慮している。また、道路境界から後退した建物配置とし、可能な限り敷地境界沿いに植栽をすることで、周辺環境に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー	適切な外皮性能を確保すると共に、LED照明等による設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。
LR2 資源・マテリアル	節水型器具を採用することにより、水資源の保護に配慮している。
LR3 敷地外環境	「光害対策ガイドライン」チェックリストを基に、光害抑制に配慮している。
その他	-